

国内旅行に関する調査データ
～今後1年間で出かけた国内旅行 編②～

2024年9月

朝日大学マーケティング研究所

- 調査手法 : WEBリサーチ
- 調査期間 : 2024年 6月10日 (月) ~ 6月18日 (火)
- 調査対象 : 首都圏在住の男女 18歳~59歳
- 有効回答 : 480名

【内訳】

	男性	女性
18~29歳	60名	60名
30~39歳	60名	60名
40~49歳	60名	60名
50~59歳	60名	60名
合計	240名	240名

※今回は「国内旅行」を以下のとおり定義づけて調査を行った

- ・宿泊を伴う国内旅行であること
- ・日帰り旅行は含まない
- ・帰省、出張、修学旅行は含まない
- ・海外渡航を伴う国内旅行は含まない

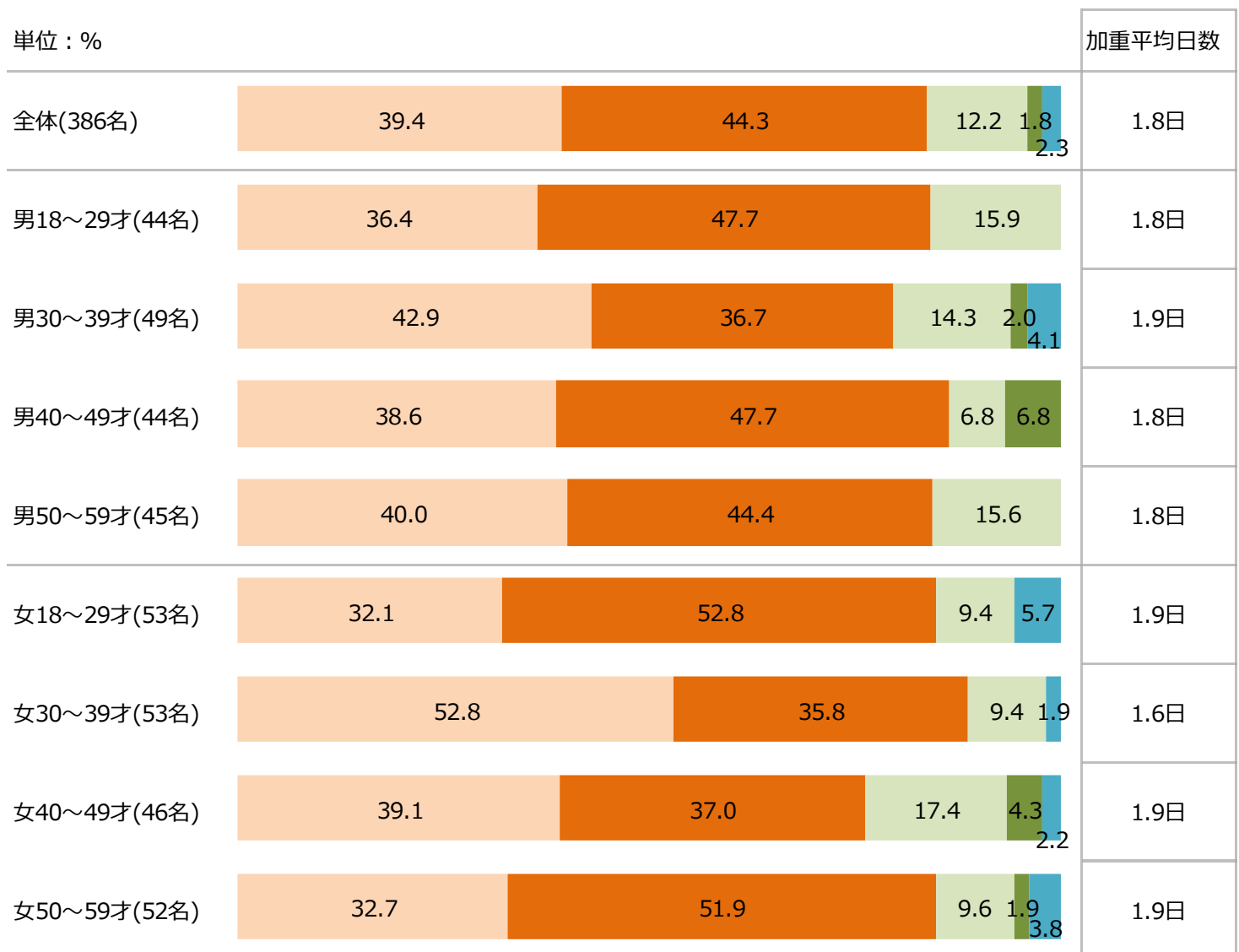
5. 今後1年間に出かけたい国内旅行における希望の宿泊日数

- 今後1年間に出かけたい「宿泊を伴う国内旅行」の宿泊日数としては、「2泊」(44.3%)と「1泊」(39.4%)の合計が8割を超えており、平均日数は1.8日となっている。
- 性年代別による偏りは小さく、各属性とも2泊以内の希望が大半を占める。
- 男30～39才、女30～39才、女40～49才では、「2泊」よりも「1泊」のほうが割合が高い。

Q9.次回の「宿泊を伴う国内旅行」の宿泊日数を選んでください、または希望する宿泊日数をひとつ選んでください。(SA)

n=今後1年間に「宿泊を伴う国内旅行」に出かけたい人 (Q1_2=「すでに予約している」「まだ予約はしていないが、出かけたい」)

単位：%



※加重平均日数は選択肢のそのままの数字で計算

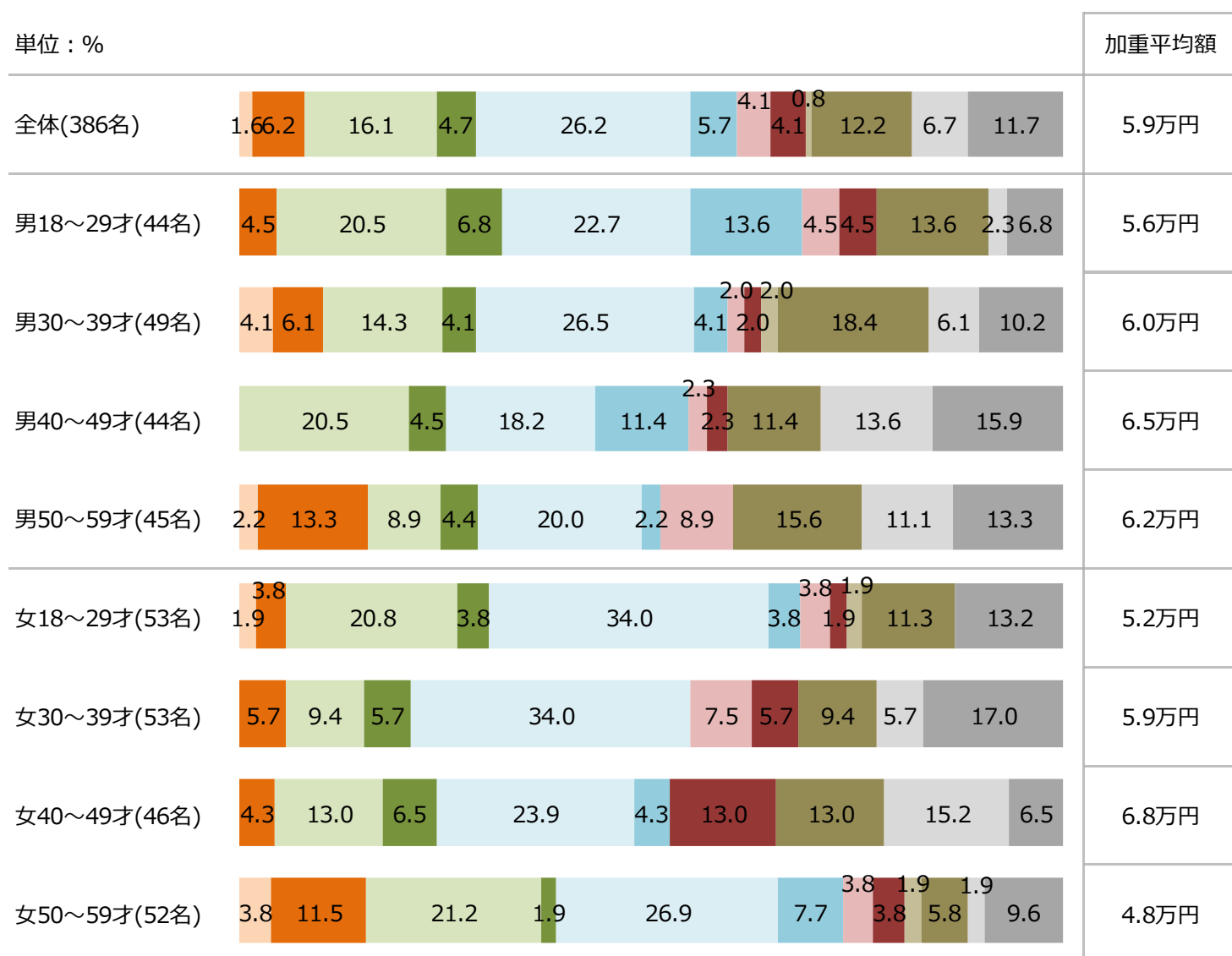
1泊
 2泊
 3泊
 4泊
 5泊以上

- 今後1年間に出かけたい「宿泊を伴う国内旅行」の予算では「5万円まで」(26.2%)と「3万円まで」(16.1%)の割合が相対的に高く、全体での平均額は5.9万円である。
- 平均額は男女とも40～49才で最も高く、その40～49才を除き女性よりも男性のほうが高い。

Q10. 次回の「宿泊を伴う国内旅行」の予算を選んでください、または希望する予算をひとつ選んでください。(SA)

n=今後1年間に「宿泊を伴う国内旅行」に出かけたい人 (Q1_2=「すでに予約している」「まだ予約はしていないが、出かけたい」)

単位：%



※加重平均額は選択肢の数字で計算、ただし「10万円より上」は12、「予算の目安は特にない」は計算から除外

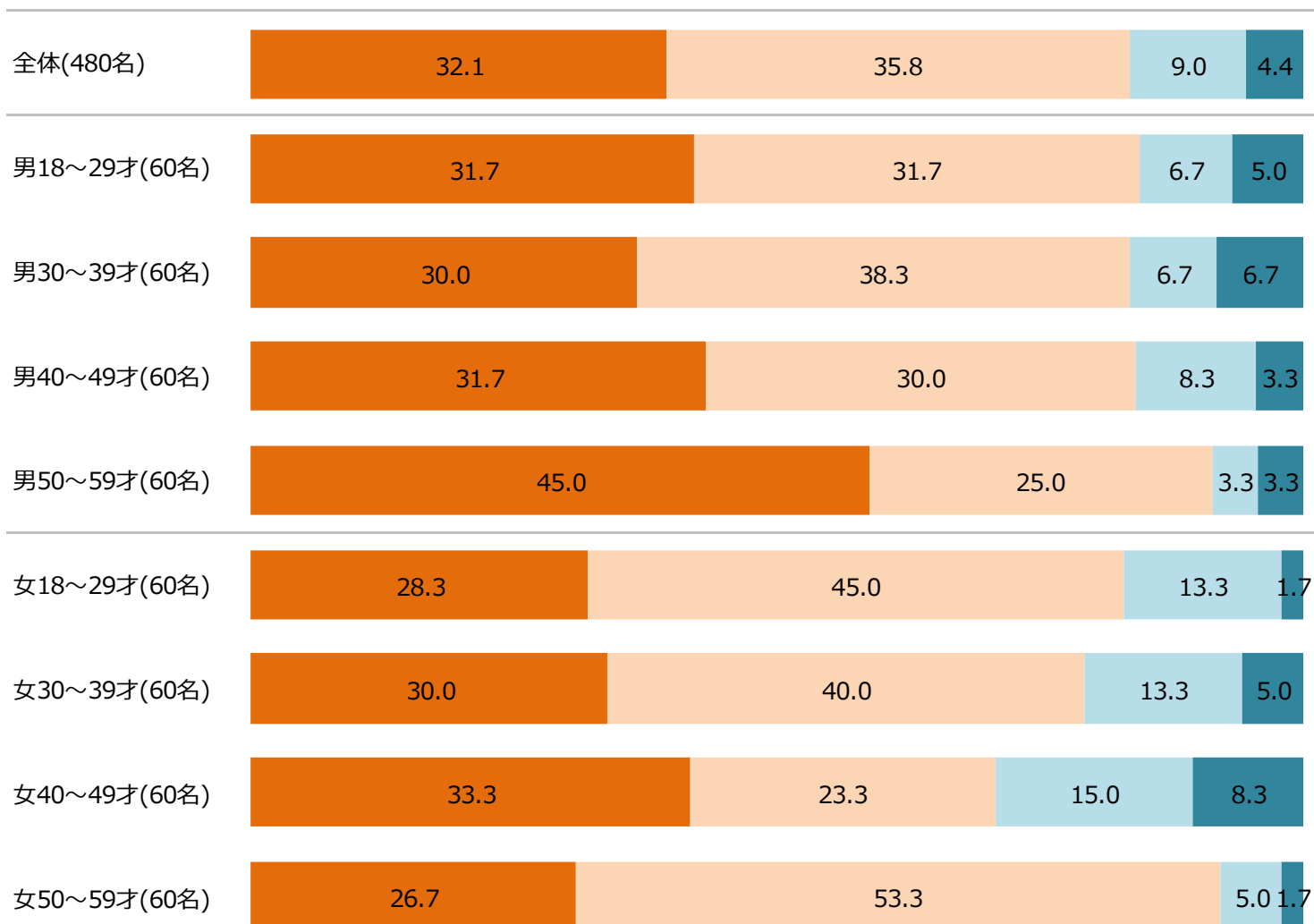


- 国内旅行で同じ場所にリピート訪問することに関しては、「同じ場所でも特に気にしない」(32.1%)と「同じ場所でも気にしないが、他の候補があればなるべくそちらを優先したい」(35.8%)が3割以上で高い。
- 一方、「同じ場所は避けたい」(4.4%)はごく僅かに留まっている。

Q11.「宿泊を伴う国内旅行」の旅行地として、同じ場所を選んで再度訪れることをどの程度気にしますか。あなたの気持ちに最も近いものをひとつ選んでください。(SA)

N=全員

単位：%



- 同じ場所でも特に気にしない
- 同じ場所でも気にしないが、他の候補があればなるべくそちらを優先したい
- 同じ場所はなるべく避けるが、別に候補がなければ同じ場所でも構わない
- 同じ場所は避けたい

● 希望の宿泊日数は1泊もしくは2泊

今後1年間にしかける国内旅行で希望する宿泊日数では、「1泊」(39.4%)と「2泊」(44.3%)の合計で83.7%を占めた。3泊以上を想定する人は少数(16.3%)に留まった。属性による偏りは小さく、8割以上が2泊以内の国内旅行を希望した。

国内旅行に要する時間面および予算面の計画としては、1泊2日もしくは2泊3日を念頭に考える人が多い。観光を提供する側には、顧客ニーズに応えたプランの提案が望まれる。

● 予算平均は5.9万円

今後1年間にしかける国内旅行で希望する予算では、「5万円まで」(26.2%)と「3万円まで」(16.1%)の割合が相対的に高かった。3万円と5万円が予算の節目となっている。全体では5万円より少ない金額を選んだ割合の合計が半数を超えたが(54.8%)、5万円より多い金額を選んだ割合の合計も3割を超えており(33.6%)、加重平均額は5.9万円となった。金額を制限せず、国内旅行を楽しもうとする人も少なくない。

年代別にみると加重平均額は男女とも40～49才で最も高かった。40～49才では男女とも5万円より多い金額を選んだ割合の合計が4割を超えており、その分、加重平均額も多かった。

国内旅行で相対的に高い費用を希望する割合は40～49才で最も高かった。子供を伴う家族旅行は人数が多く、その分、費用が掛かることが40～49才の希望額が高い要因のひとつと考えられる。

● 国内旅行ではリピート訪問にネガティブ感情はない

国内旅行で同じ場所にリピート訪問することについては「同じ場所でも特に気にしない」(32.1%)と「同じ場所でも気にしないが、他の候補があればなるべくそちらを優先したい」(35.8%)の合計が67.9%であった。一方で「同じ場所は避けたい」(4.4%)はごく僅かであった。リピート訪問に対するネガティブな感情はほとんどなかった。

旅行を計画する際、旅行経験があるだけで候補地から除外されるわけではなく、それがどのような内容の体験であったかが重要である。観光地が観光客に与える価値(感動、共感など)が、リピート訪問の意向に大きな影響を与えるものと思われる。今の旅行体験が次回の訪問につながる、まさに一期一会の気持ちで観光客と触れ合うことが観光地の繁栄をもたらす。

トピックスリサーチ

国内旅行に関する調査データ ～今後1年間で出かけた国内旅行 編②～

発行日 2024年 9月 30日

発行・調査分析 朝日大学 マーケティング研究所

〒501-0296

岐阜県瑞穂市穂積1851

TEL : 058-326-1173

お問い合わせ marketing@alice.asahi-u.ac.jp